

第26回カレッジ川柳会月報

第二十六回カレッジ川柳会月報（九月例会結果報告）

日時 …平成三十年九月二十六日（水）午後一時半～四時

場所 …美浜公民館・第一会議室

講師 …佐藤公江（千葉県川柳作家連盟理事）

出席者 …（順不同・敬称略）井上慧姑、萱野澄彦、谷口勝、

松谷のん紀、両角節児、山岸順、黒崎与三坊

課題「火遊び」互選句 佐藤公江 講評

「1点」

浮き浮きとお手てつないでどこへ行く 節 児
 遊びにも一線守リスマートに のん紀
 クラス会焼け木杭の種いくつ 勝
 酔っ払いスリル求めてネオン街 節 児
 夏の恋秋の寒さが身に染みる 与三坊

「2点」

恋焦がれ八百屋お七は火を放ち 与三坊
 イヤリング揺れて火遊び燃え始め 順
 マンネリも生活抜けてやるスリル のん紀
 火遊びのクセの直らぬ消防士 与三坊

「3点」

落葉焚きいも焼けるまで待てぬ子ら 澄 彦
 少しだけ後期高齢弾けたい 慧 姑
 火遊びがはじまる予感薄化粧 順
 隠せない浮いた話しはすぐ知れる 節 児

「4点」

先生にせんこ花火の様な恋 のん紀
 火遊びをしてみたけれど火種なし 澄 彦
 米朝のリーダー遊ぶ核ゲーム 勝

「5点」

火遊びを子供に注意夫にも 慧 姑

「講師の句」

自分史に浮き名の数を並べたて 公 江
 アバンチュールいつも傷つくのはおんな 公 江
 ひと夏の恋のつもりが泥の舟 公 江

第26回カレッジ川柳会月報

自由吟 佐藤 公江 選

「惜しい句」

高齡者指操作より他人に聞く
断捨離で何を捨てるか夫婦揉め

慧 姑
澄 糸

「秀」

喜寿の秋孫を授かり若返る
同じ服目を合わさずにすれ違い
百歳まで年金あるか気にかかり
入れ墨はファッションなのかおどかしか
眠れない仕方ないから昼寝する

勝
与三坊
順
節 児
澄 糸

「客」

戦前の生まれで見せぬ胸の奥
日本語をしゃべれなくても日本人
高齡者筋力無いが金は有る
墓もない仏壇もない核家族
気に掛けてくれる仲間がいる安堵

与三坊
節 児
慧 姑
澄 糸
のん紀

「人」

俺の金おろすとポリス飛んで来る

順

「地」

結構と言われ真意を測りかね

与三坊

「天」

おれおれの電話も来ずに日が終わる

のん紀

お知らせ

次回十月例会予定

日時…十月二十四日(水)午後一時半～四時

場所…美浜公民館・第一会議室

①課題「モラル」三句 (互選)

※十月二十日までに事務局あて投句願います。

②「自由吟」二句以上 (佐藤公江選)

※例会当日に投句願います。